

日本発イタリア便り～ローマで遺跡三昧～



初めてローマに行ったとき、何がびっくりしたか、というと、これ。突然出現する遺跡。しかも一つや二つではなく、ローマの中心地にかなりの面積を占めています。前回は、時間的にも体力的にも遠くから眺めるにとどめたローマの遺跡、今回はたっぷり見てきました。

まずは、コロッセオ(Colosseo)に向けて出発！ローマには、地下鉄が2路線あります。A線とB線。B線には、Colosseoという駅があります。



さて、駅からはどうやっていくのかな？と思った瞬間



すぐ目の前で、コロッセオは朝日に輝いていました。☺

このコロッセオ、完成したのが70年(紀元後です。)の野外円形劇場です。



円形劇場なので、さすがに全景は難しいです。



中はこんな感じ。今は舞台がないので、分りにくいですが、地下は、ライオンなど猛獣の檻や機械や舞台装置なんかを置く倉庫として使われていたそうです。板を張って、砂をまいた舞台の上では、落成の折には100日ぶっ続けで、映画「グラディエーター」で有名な、剣闘士と猛獣の戦い、というのが上演(?)されていたそうです。その期間だけで、戦いで亡くなった剣闘士の数2,000人、猛獣の数900頭と記録にあります。

圧倒的に猛獣が強かった！と思いきや、剣闘士対剣闘士の戦いとか、水を全体に張って、模擬の海戦なんかもやった記録があるようです。今では日本語にもなっている「アリーナ(アリーナ)」という言葉、もともとは、「血を吸いやすい砂」という意味で、この舞台に敷き詰めてあったそうですよ…。コッロセロは3階建てで、収容観客数55,000人。立ち見を入れると、80,000人くらい入ったそうです。すごい規模です。でもその大人数が殺し合いに声援を送って観る、というのは、ちょっと私には感覚がわかりませんが、格闘技をみる感覚なんではないでしょうか？



3階部分の石が切り取られています。これは戦争とかで損傷を受けたのではなく、中世には地震で崩れたこともあるし、ヴァチカンのサンピエトロ大聖堂などを作る際の材料として、一部流用されたり、勝手に持ち去られたりしたそうです。羊毛工場になった時代もあるとかで、ずっと大事にされてきたわけではないんですね。

そしてフォロ・ロマーノ(Foro Romano)こちらは歴史がもっと古く、紀元前6~1世紀に、古代ローマ帝国の政治と経済の中心(=世界の中心!)だったところです。紀元前ですよ。(そのころ、日本人は何してたんだろ?と考えるのも興味深いです。)



パラティーノの丘(Palatino)から見た風景です。皇帝の住んでいたのが、この丘の上です。フォロ・ロマーノを見下ろして…。歴代の皇帝が楽しんだ風景なんですねえ。

神殿とか、教会とか、元老院とかかなり綺麗な形で残っています。でもここ、古代ローマ帝国が目滅亡したあと、土砂に埋められてしまって、19世紀以降に発掘されるまでは、牛さんたちが草を食べる草原だったそうです。ということは、この古代ローマ帝国があった時代の人と、発掘以降の間の人たちって、ここにこんなものがある、というのは知らなかったんですね。不思議な気がします。

コロッセオからこのフォロ・ロマーノはずっと歩いてみる事ができるのですが、まあ暑い日だったので、ばてばてでした。その辺にごろごろしている大きな石、(大理石が多いです)に腰掛けて、ちょっと休憩するのですが、大理石がひんやりしていて気持ちがいいです。木陰にはいると、ふっと月桂樹の葉っぱのおいがしてきたりして、ちょっと時間の流れが違うような錯覚に陥りました。

ローマで遺跡三昧の半日でした。ヴァチカンも遺跡も、ローマには、「ここに来ないと絶対見れない+わざわざ見に来る価値のある」ものが凝縮されているように思います。でもご注意!ローマは、階段も多いし、坂も多いです。信号が少なく、車の運転はかなり荒いので、道の横断は常に小走りの必要があります。毎日、筋肉痛になって、足が棒になるまで歩いても飽きることがないです。そしてもちろん、美味しいものも多いです。…ということは?是非しっかり歩いて食べられるうちに!+やっぱり「ローマは3日じゃ足らず」です。

今回はちょっとまじめな「三昧シリーズ」、遺跡でした。